

## 周辺の移り変わり

### 伊勢崎線第2号踏切（桜橋通り）



昭和30年頃

平成30年

現在

### とうきょうスカイツリー駅付近（言問通り）



昭和初期頃（浅草駅）

昭和60年（業平橋駅）

現在（とうきょうスカイツリー駅）

### とうきょうスカイツリー駅ホーム



昭和2年（浅草駅）

平成7年（業平橋駅）

現在（とうきょうスカイツリー駅）

墨田区公式 YouTube チャンネルで  
連続立体交差事業の工事記録映像が視聴できます。



本連続立体交差事業は、道路整備の一環として、国土交通省及び東京都の支援を受け、墨田区が都市計画事業として実施するものです。



令和7（2025）年6月

# 東武伊勢崎線（とうきょうスカイツリー駅付近） 連続立体交差事業

## 上下線高架化記念式典



墨田区  
東武鉄道株式会社

# ごあいさつ

区では、平成29年度から、事業主体として本事業に取り組んでまいりました。地域の皆様に長期に渡ってご協力をいただきながら工事を進め、上り線を令和4年11月27日に、下り線を令和7年3月2日に高架化したことで、長年の悲願であった伊勢崎線第2号踏切を除却し、まちの発展に向け、大きな節目を迎えることができました。これまでの関係者の皆様の並々ならぬご尽力の賜物であり、心より感謝申し上げます。

今後は、留置線の高架橋工事を行うとともに、押上駅北口交通広場を含めた関連街路の整備や高架下の利活用、駅周辺のまちづくり等、安全・安心で、魅力あふれるまちの実現に向け、より一層力を注いでいきます。引き続き皆様のご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

墨田区長 山本 亨

とうきょうスカイツリー駅周辺は、古くは職人・ものづくりのまち、舟運による物流の拠点など多くの伝統や文化的背景を有しており、その一部を担う鉄道駅もまちの変化とともに吾妻橋駅、浅草駅、業平橋駅、そして現在のとうきょうスカイツリー駅と名前を変えながら地域の皆様と歩んでまいりました。

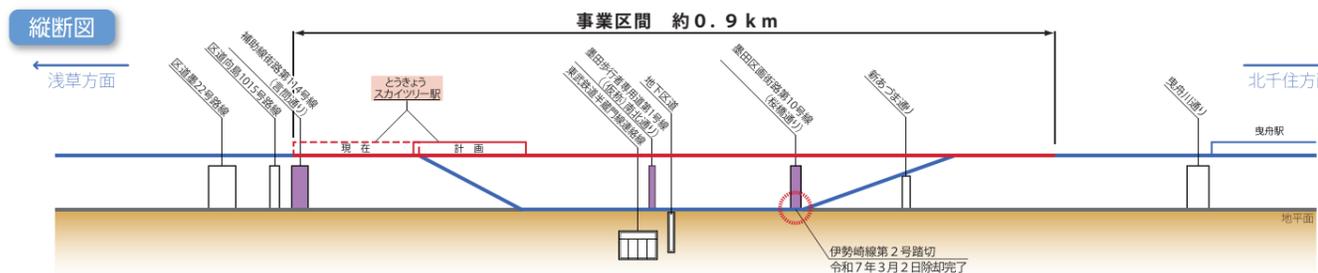
平成29年度に着工した本事業では、墨田区と協力しながら鉄道高架化工事を進め、この度令和7年3月2日に踏切を除却することができました。これは墨田区をはじめ、関係する皆様の方ならぬご支援、ご協力の賜物と、心よりお礼を申し上げます。

今後も地域の皆様とともに発展を続け、皆様に末永くご愛顧いただけるよう、これまで以上に安全・安心、サービス向上に努めてまいります。

東武鉄道株式会社 取締役社長 都筑 豊

# 事業概要

- ① 路線名 都市高速鉄道 東武伊勢崎線
- ② 区間 とうきょうスカイツリー駅付近（墨田区押上二丁目～墨田区向島一丁目）
- ③ 延長 約0.9 km
- ④ 事業期間 平成29（2017）年6月～令和11（2029）年3月
- ⑤ 駅施設 とうきょうスカイツリー駅
- ⑥ 構造形式 高架式（嵩上げ式）
- ⑦ 除却された踏切 伊勢崎線第2号踏切（墨田区画街路第10号線（桜橋通り））



# 事業の経緯

年月	出来事	写真
平成 18 (2006) 年 3月	新タワーの建設地が墨田・台東エリア（押上・業平橋地区）に決定	
平成 18 (2006) 年 9月	押上・業平橋地区まちづくりグランドデザイン策定（高架化を位置付け）	
平成 21 (2009) 年 3月	墨田区東武伊勢崎線（曳舟～業平橋駅間）周辺地区整備計画検討委員会発足	
平成 24 (2012) 年 3月	連立事業の着工準備採択	
平成 24 (2012) 年 5月	東京スカイツリー開業	
平成 24 (2012) 年 10月	促進住民協議会の設立（8 町会 2 商店会）	
平成 26 (2014) 年 5月	墨田区議会 鉄道立体化促進議員連盟の設立	
平成 26 (2014) 年 7月	促進連絡協議会の設立	①
平成 27 (2015) 年 12月	都市計画案説明会開催	
平成 28 (2016) 年 3月	都市計画決定	
平成 29 (2017) 年 6月	都市計画事業認可	②
平成 30 (2018) 年 1月	工事着手	
令和 4 (2022) 年 11月	上り線高架施設見学会開催（参加者 986 名）	⑤
令和 4 (2022) 年 11月	上り線高架切替	⑥⑦
令和 7 (2025) 年 1月	都市計画事業認可変更	
令和 7 (2025) 年 3月	下り線高架切替【踏切除却】	⑨⑩⑪⑫

